

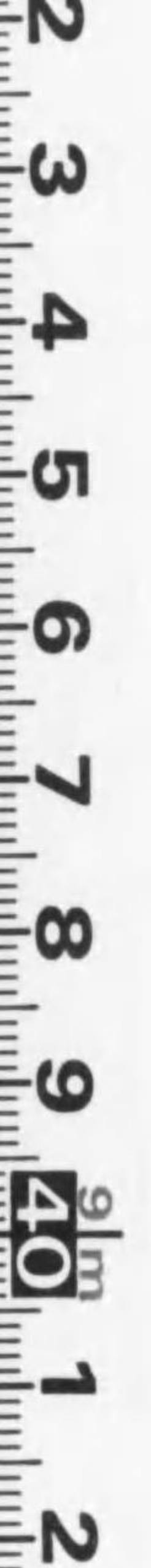
俳諧季寄

全

特 259

768

始



特259

768



凡例

一 季ごあり雑となるものには

「此印を冠らしむ 發句に

ては當季 平句にては季に

つれて季になり又雑にも成

なり

一 季節を跨がるものには○此

印を冠らしむ 平句の用に

て其季につれるなり 發句

には用ふへからず 尤句作

によるへし

一 五節供はしめ廢たるものあ

またあるも二見貝 貝合に

公事其れども絶たるも其ま

ゝありて既往を見るの一助

になれはそれに倣ふて記せ

り

祭禮の日柄の改りたるもの

は訂正を乞ふ

一題意の注解は省略し單に携

帶の辨用を要とす

### 俳諧季寄

美濃

一味庵 高味石田編

一月

小寒節 大寒節

大呂月 睦月 端月 祝月 梅初月  
年端月 初空月 隙月 春待月

季冬

年立つ 新玉 歳化 年始 ふる年  
若き年 あたらしき年 迎年

宵のさし 初さし 年立かへる  
明る年 新年 改年 年頭

元日 元旦 初あした 鷄旦 聖節  
改旦 歳旦 元朝 履端



正朝 東君  
歳首

三ツの始 元三 三の朝 「去年

「今年 初空 初みそら 初明

初鶏 初鴉 初曆 曆開

御慶 年禮 初禮者 禮者 回禮 二日

三ヶ日 三ヶ日過 書初 吉書 試筆 試毫 筆初 初笑

初夢 初手水 讀初 弓始

馬乗始 ひめとしめ 着衣初

節衣 正月着 節小袖 初荷 初商 店卸 買初

初賣 湯殿初 初風呂 初噺

船乗初 藏開 謠初 遊初

舞初 彈初 瑟 吹初 笛 初芝居

初日出 初日 若水 包井開 若水桶 井花水 井開

鏡餅 大服 太箸 若餅

雜煮 田原子 生海鼠 結昆布 芋頭 大根 祝かんをいこふ 開キ豆

開キ牛房 押鮎 蓬菜 敷子 穂俵 田作 小殿原共

串柿 榎 橙 柚 搗栗 梅干 羹 柑子 食ツミ 野老 伊勢海老 よし肴

料る物 屠蘇 白散 度嶮散 藥子 膏藥 椒柏酒 海藏身 バヒフ

齒朶 裏白 山草 穂長 齒固 樸葉 親子艸

掛鯛 にらみ鯛 掛むしろ 年徳神 恵方棚 穂俵 年棚 門の神棚

門松 縁門 年玉 福藁敷 陸軍始

松の内 注連の内 松過 福引 賣引 手鞠

手まり唄 手まりつく 華手鞠 毬打 毬杖 ぶりく 玉打

門飾 飾竹、海老 注連、葦 幸木 繩、松、炭 幸木籠 鬼打木 藁盒子



花飾輪、門の竹 立松 松囃子

破魔弓、矢羽子つく 胡鬼ノ子こき板羽子板 遣羽子

若蛭子 夷廻シお寶 福わかし 福鍋

いねつむいねあくる 大黒舞 傀儡師

萬歳 鳥追 春駒 猿引 さるさわし

懸想文賣 御降 元日に降る 福壽草

元日艸 節饗 二節 初子日 小松引飼屋掃

ふくつく草 子日の松 子日遊 子日衣 人日 七日 七日正月 薺こやす 薺粥

若菜粥 七種粥 嫁の君 若菜摘 若菜初若菜みどりの若菜

七種 芹 薺 蘿蔔 菘 スイシロ ス、ナ 七種節供 黄爪菜 鼠草 紫萁

舊式ニ寅月七日ヲ七種節供トテ祝ヘリ但節供ト斗一句離ハ雜也季ニ連レハ季ニナル

鶴の庖丁 年男 帳絨 帳書

赤豆粥祝 十五日粥柱小豆粥粥ノ木粥杖

十四日年越 ウツロモヤウチ 庭竈 爆竹 サキナフ

さんさ 吉書上る 十五日 水祝 十五日

左義長 つな引 菱葩ほこらす 墨付 尻こり 若やく 若返る 骨正月 舊式ニ一

月二十日ヲ廿日正月 廿日團子トテ祝ヘリ 一月角力 藪入

寒れ入 寒の内 寒れ雨 寒れ月

寒菊 早咲 寒梅モ 寒聲遣 小寒

大寒 寒晒 寒れ餅 寒酒造

寒垢離 寒筍 孟宗竹 寒鯉 みのわたの鯉取

八目鱧 あつと鮎こいり 薬喰 露の露

寒念佛 春隣 春近き春を待 朝拜 元日

朝賀 奏瑞 院拜禮 元日 四方拜 元日



惠方詣 元日節會諸司奏國柄ノ奏

七曜御曆 二宮大饗二 元始祭三

氷ノ様シ 腹赤 叙位五 女叙位八

裏白連歌三 十日蛭子十 初庚申

白馬節會七 初寅詣春おろし 阿部野祭廿四日

御忌十五日ヨリ二十 山城 卯杖卯つち

初卯詣 常陸帶十日 鹿島 賭弓ノリ 十八日

住吉初卯 住吉御弓 居籠

平岡御粥 祇園削掛 毘沙門功德經

船玉祭 箕面富 玉せりハコ 三保祭

遊行札切 獅子頭 神支 縣召

御薪イカマキ 舞御覽ミシホ 御修法アラレハシリ 男女踏歌

踏歌 御齋會 大元師法

吉田清拔 女節分 上元日十五元夕

小正月 燈籠見コトアリ 天狗宴り

嚴島祭下亥 星佛供星なま 鵲始テ 巢フ

鵲巢造 鶏始乳 厄神祭 蘇氏持木

御歌始會 三物俳諧三物 節振舞

具足鏡割 町汁 鏡開 女王祿

御弓 外記政始 内宴 葭灰飛

春盤 生菜 桃符桃板 繪踏

天穿 鬱壘 糝イカノボリ 紙鳶蜻こ云ふ

二月

立春節 雨水節



大簇月

早緑月 霞初月  
初春月 孟春

春立つ

明の春 千々の、君が、今日の、  
今朝の、花の、御代の、

千代の、宿の、年の賀 二日灸 二日  
四方の、

出代り

「新参」古参 今参り  
「季重ね 此季 出る  
止る 春永

初東風

初霞 椿 玉、伊勢、白玉、  
飛入椿 つかく、

梅の花

句 艸 春告 艸 花の兄 白梅 野梅  
この花 カサキクサ ヤリ梅  
香散見艸

好文木

鶯宿梅 梅 飛梅 落の芽 松の花

緑たつ 若緑 十かへりの花  
若松 初みこり 松みこり

水菜 千代の菜  
水入菜

角くむ 芦

芦の芽 罌粟若葉 草木芽出

木の芽漬

下萌 名草芽 芹 根白艸  
木の芽

水草生る

菠薐 草薺 活大根 野大根

莖立菜

草麥 磯菜摘 磯若菜

蔦菜摘

瓜く摘 海苔 おまのり か田、  
青、甘、淺草、

葛西、黒、鷄冠菜 興津、品川、干  
、挿 ヲツブルイ、舟ちりめん、  
雲州十六嶋、

海草類

海雲 龍鬚菜 海素めん 白魚  
鹿角菜 紫羅藻 若布

鶯菜

猫の戀 猫の妻、さがる  
うかれ、妻乞、 淡雪

春の雪

雪解 雪解水、汁 氷解 氷流る、  
泡 雪解、なたれ 氷解 氷のひま

名残の雪

凍解 殘氷 去年の水

殘雪

雪間 春寒 餘寒 四季景物  
イツレモ

殘餘ノ字

次ノ季ナリ 春淺し 冴返る 凍返 冴  
返 冴

養父入

初午 稻荷参 水間祭 上午  
和泉

薪能

奈良 季御讀經 北野御忌 廿五  
山シロ

釋奠

二月上丁の日 水取 奈良  
孔子及十哲を祀る

二月堂ノ行 献生子 祈年祭 列見



梅花忌 其角忌 追儼節おにやらい

厄拂厄おとし 紀元節十 常樂會五

涅槃十涅槃像 去佛 嵯峨炬火五十

鰺祭魚 魚上水 枚岡祭一日 河内

鶺鴒祭一日 日向 菅生石部祭十日 加賀

四條暇祭十二日 河内

○二月三月四月ニ渡ル物

霞八重霞、の海、衣 長閑 麗

暖ぬくい 春風風やはらく 水ぬるむ

水和らき 霞汲ム 浅みどり 呂の調

保佐姫 春の曙、曉 春の日 春宵

春夕ユウヤ、夜 淑氣 山笑ふ 春の山 山黛

朧朧夜 おほろ影 春雨 春眠 春色

春ならぬ春知らぬ 春に逢こや 若草初草古、 匂し

若芝 春波 さいたつま 虎杖 柳

青柳糸、川そひ艸 光り、白楊 楯、川、箱、風見艸、かづら、腰

春の月 山葵ワサビ 薺蒿摘嫩菜 嫩うこき

三葉芹こつは 甘海苔 摘菜雑菜摘

草芳し草蒨 慈姑ウライ 山椒皮

干大根ほし菜 果鳥ハゴ 駒鳥 鶯

經よみ鳥 金衣、ふつかし、鳥囀ル 匂、歌よみ、さゝめ、

水鳥囀モ 貞鳥貞よ 百千鳥三鳥ノ一也

鷹 青饅ヌク 鳥賊イカ 蛤焼 蛤

蛭アサリ 蛭シメ 鱒 鮎初鮎

六



飯蛸 壺焼 目さし 干鰯ヒタラ 葩煎

搔餅 二れ替り居 芝 木地爐縁 月花

花鳥 〇祭 野遊 蔵入出代リ

三月

啓蟄節 春分節

夾鐘月 衣更着 梅見月 二月  
小草生月 仲春 如月

上巳 舊式辰月三日チ上巳又 曲水 盃流  
桃ノ蒔供トテ祝ヘリ めくる水

鶇を飛ばす 桃の日 巴字杯 艾餅 桃柳 鶇合  
桃の酒 雛祭 菱餅 白酒 草餅 蓬餅 雛遊

雛かさり 立雛 雛の酒 内裏雛 桃ノ蒔供  
柳かつら 柳の太刀 胡葱鱈

桃花ノ蒔供ト斗一句ハナセハ 青を踏む  
雑ナリ 節季ニ連レハ季ニナル

草團子 時正 社日 社翁の雨 抱雛

勝鶴 闘、 櫻餅 櫻蒔蒔 初雷

初稻ひかり 隴月 △貝寄風 二月廿日前  
初電 虫出し雷 後難波の浦  
邊に吹く風  
な云ふ

陽炎 糸遊 いさあそふ 花を待  
いさゆふ 野馬トモ云

鳥の巢 古巢 鷓鴣 鴉 鴉等  
大鳥の巢 引鶴 引鴨  
但シ雜ニモ

諸鳥子 子雀 親、 繼尾ノ鷹 白尾鷹  
孕、 其外 佐保姫鷹

鳴鳥狩 開居鳥 泊山 朝鷹 泊鷹 鶯鳥  
泊り狩 鈴子さす

琴彈鳥 鷓鴣 鹿角落 孕鹿  
てりうそ 落し角

松耄鳥 胡蝶 てふく 雲雀 揚雲雀  
揚羽のてふ 笛

落、 鳥遊犯 鳥交る 蜂 うちの巢  
ひはりの床 似我蜂

蛙鳴 暮 青蛙、 のめかり時 龜鳴く  
子おたじやくし

田螺 鮒 湖ニ生ス 馬刀  
まて までから

まてむし 鮠 柳こへモロコはへ 雉子  
ト鮠トハ別ナリ

雉子笛 田かき馬 田かき午 蛇



鱒子取ル 一名カド 鳳巾 イカノボリ 鳳 繪上ルハ 繪切 切鳳

紙鳶 東詞 刈生の薄 出生の薄 末黒の薄 燒野山 燒 山 燒

萩、芝、 すくろの錐 代掻 シロカク 畔塗 田うち 耕 畑打

田をすく 畑のへす 田のへす 種子蒔 種おろし 種おろし

種子こしめ 種井 種俵 青辛 カラシ

蕨 山根 早蕨 木の實植る 杉菜

松菜 天花草 ぼうし土筆 筆つ花 莖 一夜 手向

駒引、一葉、 壺 莖トモ 蕨 野老堀 防風

山にんじん 蓮根堀 蓮植 若根蓮 慈姑堀

獨活 虎杖 さいたつま 初花

蒲公英 タネボ 鼓草 秋ノ草ノ若葉 若萩 若萩

若紫 蔦ノ若芽 萩の若葉 萩の若葉 芥子若葉 萩の焼原 菊苗 菊分根 分ル

、の植ゑ替、若葉 蘭の苗 銀杏花 菜の花

大根花 花大根 苜蓿 クマコヤシ 苣 川苣 唐、の芽

あざみ 眉作花 蓬摘 胡蘿蔔花

白藻 豆の花 蠶豆花 豌豆花 藪蕎麥 茅花 ツムナ

せんまい 狗脊共 五形花 ゲンゲ 薺の花 ゴクフハナ

三味線草 葷類 ニラ ヨシノヒゲ ヒトモシ 胡葱 アサツキ わけき

鬘草 カツラ 胡葱鱈 ニハトコノハナ 接骨木花 コナキツム 水葱摘

とろゝ 黄梅 蠟梅 紅梅 豊後梅 座論

未開紅 さくら、 八重、越中、 胡頹子 ナハシロクイ 苗代ぐみ

初櫻 糸櫻 山、彼岸、 一重、熊谷、 胡桃の花

接木 接穂 三月菜 三月大根

鼠麴摘 母子 上巳ニモ祝フ 桃始咲



彼岸 河貝子 寄居虫 宿かり虫也 やさり也

淺間祭 三日 駿河 野田祭 五日 周防 下若狹彦祭

十日 春日祭 十三日 大和 貫前祭 十五日 上野

若狹 柞原八幡祭 十五日 豊後 廣田祭 十六日 攝津

字佐祭 十八日 豊前 志波彦祭 廿九日 陸前

墨直會式 十二日 双林寺 壬生念佛 猿狂言

千本念佛 人丸供 勸學會 十五日 ヤマシロ

法華會 十一日 高雄 峯入 御影供 廿一日

春季祭 廿一日 踊念佛 時宗彼岸ニ行フ

御身拭 十九日 鷹化成鳩 蟄虫啓戸 ヒラク

蟄虫出トモ 蛇出穴 地虫穴ヲ出ル 石龍子出 其外 小弓引

揚弓の類にて公家の玩ふものなり

四 月

清明節 穀雨節

姑洗月 彌生月 櫻月 花見月 季春

寒食 清明ノ節ヨリ二日前ニ火ヲ斷ツコアリ 餅精飯モ此日ノ食 鞦韆ノ戯モ此日ノ遊

榆柳ノ火ヲ玉フハ 火ヲタチシ故ナリ 彌生山 汐干

汐干符 貝拾ひ し、み取り 鞦韆 春餅 春の霜 土佐ニテ

紅毛渡る 薄綿着ル 爐寒 爐の名殘 困爐裏寒

火燧塞 苗代 水口祭 ふはしろ道 永き日

遅き日 暮惜む 春の日 暮かぬる日 暮遅き 綿蒔 茶摘

焙爐 櫻海苔 狗杞 シユンキク 春菊 蒔蒿 高麗

吾妻、ハタツモリ 令法 レイノフ 紫萋 東菊 青ざし

若和布 かため 梨の花 桃の花



三千代神 御酒古神 毛桃花 鳴脚花  
姫、花白、源平、緋、

李れ花 杏のそ那 からも、の花 連翹

海棠花 眠る花 からなし 玫瑰 楊梅花

辛夷 まで、こふし 林檎花 檜の花

躑躅ノ花 もちつ、し紅、白、 木蓮花  
岩、姫、深山、霧島

王帯花 深丁花 眞橘花 結花郭公

子規ノ巢 花 花守 櫻 仇名神 伊勢櫻  
鶯巢ニ結テ 花園 姥、江戸、  
夢見神 奈良櫻  
虎ノ尾 普賢像

蘇枋の花 仙臺萩 小手毬花  
大山府君 碎米花 郁李花 庭梅花  
曙神

す、りけ 石南花 山梨の花 棗れ花  
シヤクナシメ ナツノ

九輪艸 麥藷 松露 馬碎花  
シヤウロ アセボノ

櫻草 七重草 柿の塔 つくそね 通草花  
エビネ アケビノ

化偷艸 花鬘 金鳳花 五加木  
ケマン クコギ

胡桃花 くわりん花 花盛 花見  
ツルイ の主  
、の宴

、曇、波、の瀧、の雨、の香、の雪  
、吹雪、ちる、飛ふ、落、むしろ、筏  
、の鈴、護、鈴、の窓、褒美、織物、  
、の暮、畫の、

丁子草 茗荷竹 蒼耳 芋植ル  
メウガ ナモリクサ

芋種 若菰 楸の花 芒芽 山吹  
芋ノ芽 若菰 楸の花 芒芽 山吹

おもしろけ 草繡棠 藤れ花 二季艸  
か、み、 松見艸  
みふく、 藤の棚  
八重山吹

下り、 青麥 麥鶉 柳ノ絮  
波、

茨の花 雪柳 春蘭花 春蘭 馬蘭  
ヒツブキ ホクリノ

櫻桃 蛇 牡丹 廿日草 鏡艸 深見、  
ユスラメメ アツ 富貴、名取、

水路の花 松葉牡丹 ゑにすた

蒲萄花 かたくり花 燕 乙鳥わたる  
つそめの巢  
來る玄鳥



歸雁 去雁、北に向ふ、  
行、の名残、  
歸鳥 四十雀小、  
五十、山、

椋鳥 かしきり、ひから  
啄木 きくいたゞき  
さめまわし  
此類行トカ歸トカ  
云テ春ナリ

頼赤 ひわ連雀 つぐみ  
ひより雀鳥 頼白 しやこ  
目白鳥 頼鳥 いすか  
此類一句離レテハ  
雑也季ニツレテハ  
春秋歸來チ改メル  
ニ及ハス

呼子鳥 三鳥ノ一也  
不可知  
上リ築 若鮎

小鮎 汲、  
登、 櫻魚 鮓 櫻貝 櫻鯛

初網 櫻うくい  
鯛網 ト斗モイ  
○築 ○鮎

雲ニ入鳥 竹秋 阿蘭陀渡  
昔ハ暮春ニ  
波シユヘ春  
季ニ用ユ

行春 春の暮、の名残、なしむ暮の、  
、の限かへる、夏近き夏隣  
春の湊 夏待 春の別 彌生盡 三月盡

神武天皇祭 三日  
筑摩祭 一日  
加茂祭 五日

葵かつら 葵祭  
御形の日 斗モ  
關白加茂詣 灌佛 日八

浴佛 花摘 八日  
佛御堂 山 御供 廿一日  
佛産湯 山科祭 巳上

黎供養 申 虹始見 初  
虹 田鼠化成鶴

萍始生

大和祭 一日 松尾祭 二日 平野祭 二日  
大和 山城 山城 山城

梅宮祭 三日 氣多祭 三日 廣瀬祭 四日  
山城 能登 大和

龍田祭 四日 護王祭 四日 美保祭 七日  
大和 山城 山城 出雲

大原野祭 八日 稻荷祭 九日 大神祭 九日  
山城 山城 大和

香取祭 十四日 日吉祭 十四日 平安祭 十五日  
下總 近江 近江 山城

建部祭 十五日 熊野坐祭 十五日 上諏訪祭 十五日  
近江 紀伊 紀伊 信濃

金鑽祭 十五日 生田祭 十五日 淺間祭 十五日  
武藏 攝津 甲斐

西塞多祭 十五日 伊豆山祭 十五日 東昭祭 十七日  
魯後 伊豆 駿河

二荒山祭 十七日 吉田祭 十八日 小國祭 十八日  
日光 下野 山城 遠江

須佐祭 十八日 宇倍祭 廿一日 伊弉諾祭 廿二日  
出雲 因幡 淡路

多賀祭 廿二日 靈山祭 廿二日 大山祇祭 廿二日  
近江 岩代 伊豫



眞清田祭 日二廿 射水祭 日三廿 度津祭 日三廿

籠 祭 日四廿 中山祭 日四廿 尾山祭 日七廿

小御門祭 日九廿 上杉祭 日九廿 靖國祭 日十三

五月

立夏節 小満節

仲呂月 卯月 卯花月 殘花月 孟夏

端午 舊式午月五日ヲ 菖蒲膏、酒 端午又菖蒲ノ節、太刀、鬘

、湯蓬膏 粽 笹粽 柏、角、茅、 關湯 アツチノオヒモ 菰、飴、飴、

競渡 日五 舟車 水馬 宵飴 日五 幟立 日五 印地打 日五

菖蒲打 日五 藥摘 日五 藥日 競ヒ駈リ 百艸ヲた、かはす

藥玉 日五 續命縷 辟兵像 朱糸 五月ノ玉 長命縷 五彩糸 條逸

更衣 白重 綿祝 初給 菖蒲節供 節供ト斗一句 季ニツレ、ハ

拾 夏衣 夏羽織 八十八夜 別霜 名殘霜

若葉 青 殘花 若葉花 卵の花 垣見草 餘花 雪見艸

卵の花降 布苔干ス 芍藥 点ひす艸 菅の花

山藤 岩ふぢ 踊之那 葵の花 筍

たかん な ス、ノコ 篠子 風車花 玉卷葛 玉卷芭蕉

芭蕉卷葉 罌粟花 若楓 夏木立

新樹 茶挽草 からす 沙參草 寶鐸 釣鐘艸

虎耳艸花 雪下 瓜茄子花 石薺花

金盞花 長春 鳶尾、やす艸 胡蝶花

射干 燕子女 良よ艸 鳥扇 煙草植

煙草苗 柿の花 粉團花 枳殼ノ花

苧珠 薔薇花 病葉 落



蓼 タデ じゆんさい ぬふは 石龍肉 タガラシ

美人艸 山苴花 葉櫻 櫻花實

さくら坊 ン 藤の實 山椒花 白丁花

厚朴花 ホウノ しゆろ花 シヨウガヒゲ 麥門冬 藪椿

岩梨子 カナノ 扇骨木花 蓮のたゑ 浮葉若根

苜蓿の臺 生薑ノ芽 青木ノ花

文字摺ノ花 初茄子 子規 めづら鳥 死出の田長 冥途鳥

あをさぎ 青鷺共 諫鼓鳥 カツコ鳥

なめくちり 蝙蝠 蚊喰鳥 蛭 行々子

葭原雀 ハイトリクモ 蠅虎 蜘蛛ノ子 鷹峙ニ入

鷹峙にこもる 鷹毛をかゆる 蟪蛄 蚊のまつげに ばん わすれ飼

蟹子 蟹ひしほ 初蟬 初鯉

摺鳥賊 鹿袋角 鳥の巢立 老鶯

鶯音チ 入ル 鶯ノ附子 鶯笛 音ヲ入ル鳥

ごり ゴリ汁 子子 子子化 煮酒

新茶 古茶 茶詰 葉撰リ 漆掻 麥秋 新麥、苳、粉

種、埃、干、東、蠶飼 桑子 蠶種 桑摘 養蠶 初桑ツミ 虎か雨 廿八日

竹植 三十日 梅天 和清ノ天 牡丹

五月角力 加茂足揃日 競馬 五日 加茂

結城祭 一日 沼名前祭 二日 水若酢祭

三日 大物忌祭 三日 砥鹿祭 四日 隠岐

大國魂祭 五日 武藏 菊地祭 五日 肥後 多度祭 五日 伊勢

南宮祭 五日 美濃 金崎祭 六日 越前 白山比咩祭

六日 加賀 名和祭 七日 伯耆 古四王祭 七日 羽後



常磐祭日二十 出雲祭日四十 御上祭日四十  
常陸 彌彦祭日四十 下加茂祭日五十 波上祭日七十  
越後 騎射日五 祇園御輿洗日十三 早月の鏡日五  
山城 蚯蚓出ツ  
琉球

○五月六月七月ニ渡ル物

涼し 茂リ草 風爐 團扇  
 夏曉 夏日 日盛 炎天  
 夏夕 夏雨 夏霞 夏雲  
 夏の空 夏露 露涼し 夏野  
 夏川 夏海 夏艸 「扇  
 「端居 「汗拭 「汗 「匂ひ袋  
 晒搗 川狩 築 鶺鴒川鶺鴒舟、道

鮎 蚊蚊遣り、紙帳蚊柱、蚊 夏の月 祭

蠅蒼蠅小 鯉 津走ツハス 獅子の子也 生鯉フシ

干はも 水はも 干鰯 羽蟻 飛蟻

氷えそ 鯖釣 蒸王餘魚ムシカレイ 夏虫

蚤イミ ぶと 短夜明安き夜 寢産ネゴザ

飯鮓 茄子 の鷹 下ケ帯

懸香 葉柳夏柳 滴山ツタムレ 夏山 瓜

「どりもち 夏行夏籠、花、經、書

麥酒 ラムネ ほしいひ 夏瘦

麥藁帽子 講習

六 月

芒種節 夏至節 夏至



セイ寶月 早月早苗月仲夏  
月不見月 廬桶月

水室一 水餅 氷賣 水のおも  
アイスクリーム 帷子  
舊式ニ本月一日ヲ肝要トス

單物 薄羽織 青嵐 木下闇 △早月雨 早月晴  
早月開

入梅雨 梅雨あき 黒さへ 石菖 岩あやめ

百合花 姫百合 博多、鹿子、  
花菖蒲 長き根

紅花 末摘花 合歡ノ花 藻の花 藻刈舟

早月躑躅 萍れ花 夏菊 杜鵑花

早月躑躅 羊蹄 羊蹄きしくの花 薏苡仁

黄絲ノ花 夏枯草 紫陽花 四ひらの花

萱艸ノ花 宜男艸 柑類の花 柚花  
金柑、蜜柑、

廬橘 橘花 花柑子 繡線菊 下毛花

椎の花 金銀花 すいかつら  
忍冬の花

アヒツイハハラ 蘭の花 虎鬚艸 栗の花  
燈心艸

ついでり花 まめ植ル かりき 苧葱

ひゆ 夏大根 青梅 梅實

覆盆子 草苳 蛇苳 青山椒 朝菊 紺菊

桑の實 杏子 杏實 からも、梨 早桃 夏桃

李桃 青柚 藜 郁李花實

枇杷實 生胡桃 天蓼 柘榴花

太蘭 早松茸 淺瓜 胡瓜 甜、  
越、梨、

若牛房 空豆 大角豆 豇豆 豌豆

南天花 蚊屋釣草 蕙 白及 白らん

茨花 酸漿ノ花 酸漿ノ花 すすいも艸  
ホ、ツキノ花

梔ノ花 若竹、こし竹 天南星 柃花



未央柳 朝露艸 松落葉 散松葉

竹落葉 常盤落葉 常盤木落葉 木茸取

木耳共 榲桲花 梓のそ那 帚木

樽の花 雲見艸 せんたんの花 直菰苳 青田

田草取 田植 田植歌 早乙女 早苗取 早苗舟 畑物蒔

粟蒔 稗、 稲、 蠶の繭 夏蠶 蝸牛 へむし

螢 雨蛙 枝蛙 水雞 羽拔鳥

通シ鴨 黒鴨の子 鶺鴒の子 鶺鴒の巢

「鳩の浮巢」 水鳥の巢 鶺鴒ノ巢 浮巢

獸狩 火串 照射 規ねらひ狩 鹿の子 蠶子

水馬 搥賣 まいく 蟲 小鱈

蛇脱衣 蛇の衣 鞍馬竹切 嘉定喰

大祓 夏神樂 川社 茅輪 菅貫 形代 撫物 名越祓 荒和祓 麻葉流ス

下丹生川上祭 大和 貴船祭 山城

東照祭 一日 札幌祭 五十日 八坂祭 五十日

日枝祭 五十日 津島祭 五十日 嚴島祭 七十日

熱田祭 二十三日 住吉祭 三日 住吉踊 施米

加茂六月能 三日 雷鳴陣 鳴神

腐艸成螢 半夏生ス

七月

小暑節 大暑節

林鐘月 水無月 風待月 鳴雷月 季夏

七夕 二星、祭、合 願糸 立琴 年渡り 半葉露取 梶葉 星迎 天の川 牽牛 織女 さわたる舟 笹蟹姫 妻迎舟 朝貞姫 蕭物姫 鶴ノ橋 犬飼星 貸小袖

彦星 机硯洗 紅葉橋 乞巧奠 銀漢 七箇の池 星河 銀河 百子姫 秋さり、糸織、梶葉、さもし妻 星契り 男七夕 女七夕 星手向 二星屋形



七夕節供

舊式ニ申ノ月七日ヲ七夕トテ  
星祭又七夕節供トテ祝ヘリ  
但シ節供ト斗一句ハナセバ雜  
也季ニ連レバ季ニナル

七夕鞠

つと入り十日 中元生身魂  
刺鯉  
蓮飯

○掛乞

踊 風薫南薫風の香 涼風

清水

三伏 雲の峰奇峰 黄雀風

新井サラシキ  
夏井

白雨よたち  
夕立トモ云 雷鳴神

白とへ

暑極暑  
海、  
避、 納涼川門涼橋、  
舟、

土用干

虫干  
虫拂 簾タカムシロ 竹夫人抱籠  
脚馬

「泉

「日傘 「雨乞 水論

「土用

香蕾散 水賣 かくらん

富士ノ雪消

夏切ノ茶 蒜の根

百日紅

猿すべり 楊梅ヤマセ、  
スモ、 李ナデシコ 罌麥

形見艸常夏ふつらし艸  
せきちく撫子河原撫子

荒和布ささか  
ふのりそ  
海松  
和布刈

菱じ花

澤潟 蒲穂カウホネ  
河骨  
尺書

のうせんかつら

麻麻花  
櫻麻  
夏引ノ糸 麻刈からむし

竹皮取

たけの  
かは 蘭刈 眼皮 鷺草

ぎほうし

干瓢むく 新干瓢 釣草

しのふ 葱  
いはしのこ類品々

赤草水艸也 青葛

風蘭

時計草 虎尾ノ花 葛ノ花

菅刈

麒麟艸 鐵線花 茗荷子

楮コハゾ

紫蘇 藍刈アヲトウカラシ 青番椒

青鬼灯

夕顔たそかれ艸  
ひさごの花 瓢花瓢躰花

晝顔

絲瓜花ヘチマノ 木綿ノ花キワタ  
綿の花

林檎

とろゝ花わらじ及  
紙漉艸 蛇床子ヤブシラシ

草石蠶ナウロキ

むぐらじ花 桐の花 蓮の花



つれなし艸池見、蓮、蟬、蟬脱、時雨  
露湛、水塔、水芙蓉、水の花

蛾 ヒトリムシ 黎雲雀 雲雀鷹 ギス 絡線 羽遣習鷹

鷹羽かゆる 一夜酒 あまざけ 水飯 ひこよさげ

水菓子 水の粉 干飯 引飯 浅茅酒 心太 コ、ロフト

洗飯 ア、ヒ ころてん 葛水 砂糖水 からなし

石花菜 眞桑瓜 煮梅 梅むき 沖鯨 いんげ豆

隠元豆トモ 八月ニモ有 びくなき 切り麥 冷麥

金亀子 コガキムシ ぶいく 海月取 毛蟲

すくもむし 納豆造ル 冷汁 煮冷シ

醤油造ル ひしほ造ル 酢造ル

奈良漬造ル 秋隣 秋ちかし、秋を待つ、夏深き、の果、の別れ、の限り、ニ隔ル、過て

北野御手洗日七 文珠會日八 オシテウツ

夏を追ふ 不來秋 晩夏

六道祭日九 迎鐘 干蘭盆 魂祭 生靈祭 蓮飯 柳經 麻木箸 鼠尾花 魂柳 迎火

三井寺女詣日五 地藏祭日四 洛外 江湖別

接待 みさ山祭 みさ山狩 穂屋作ル 〇峯入

御靈出日八 山城 温風至ル 建勳祭日一 山城

日御碕祭日七 出雲 鹽竈祭日十 陸前 湊川祭日二十 攝津

熊野那智祭日四 紀伊 月山祭日五 羽前 出雲祭日五 羽前

湯殿山祭日五 羽前 阿蘇祭日八 肥後

八月

立秋節 處暑節

夷則月 文月 蘭月 女郎花月 孟秋

八月 八朔 舊式ニ酉ノ月一日ヲ 田の面の日田の實の 祝トテ新穀初メテ登ルノ祝アリ 放生日五十

非 皆 序 野 大



鳥を放す 駒迎五十 駒原ノ駒 けふの秋  
魚を放す 夜霧

今朝の秋 初秋新秋 孟秋 涼月 親月

初涼秋涼 新涼 殘暑 饑暑 初嵐

身入風身よしむ 身よしめて 風冷ヒヤカ 井戸がへ

○雨乞 朝茶湯朝良ノ茶湯 例ニ起ル 燒米ヤキノ 花火

鳩吹 一葉散る一葉桐柳 柞ちる 木槿

牽牛花日影艸 朝良尺書 茗荷花 草の花

萩の花さばれ草 寢覺風待、 萩の花庭見艸 鹿鳴艸 古枝艸 糸萩 小萩 もさあかの萩

女郎花オトコヘシ 男郎花おとこら 芭蕉破芭蕉

秋海棠 小車の花 桔校ひさへ艸 ありの檜扇

蘭あらしき 老母艸ノ實 藤袴

辨慶草 忍んじゆの花 狼尾艸

とうこまひまし 益母艸ノハシキ 角力艸

薬師艸弟切艸 水引の花 観音艸

曼珠沙花マンジュサク 捨子花 死人花 なた豆 鬱金花

艾花 芋の葉 西瓜西瓜提灯 垣豆

籬豆隠元豆 七月ニモアリ 絲瓜ヘチマ 南瓜ホウフウ たうなす 天瓜 かぼちや

冬瓜 鼠尾花ヒソハキ 水かけ艸 蓮實飛

木瓜の實クサギノハナ 常山花 仙翁花 花紫

一もと薄 花野野のにしき 草のにしき 蕎麥蒔

花畠花壇 頼桐花トウキリ 桃實 三七の花

梨ありの實 早稻 稻の花稻の香 富貴花 むろのこや早稻

中稻 陸穂 稻雀 薑生姜

瓢百生 夕良ひさこの實 楸 澁柿搗 殘螢秋螢



秋の蝶 露霧チ ムスヒテモ 初鷹 ネグラ 時出鷹 堀勝リ 鷹山別

いさ虫 虫チクル 虫追フ 茶立虫 蜻蛉 かけるふ 秋津虫 やむま 赤蜻蛉

虫 むし狩 むし籠 いなご 玉虫 蓑、 蟋蟀 キリグリス

松虫 鈴虫 ヒツラシ かなく 促織 ハタオリ

轡虫 浮塵子 ウシカ 放屁虫 ヘヒリ 秋蟬

秋蚕 稻春 イネツキ つくくほうし 蜉蝣

秋の蠅 常山虫 クサキノ 残蚊 秋の蚊

藻ニ住ム虫 扇團扇置 捨ル 忘ル

小どり使。釋奠。季御讀經 司召

氷川祭 一日 武藏下 諏訪祭 一日 信濃 岩木山祭 一日 陸奥

箱根祭 一日 相摸 八代祭 三日 肥後 北野祭 四日 山城

海神祭 五日 對馬 安房祭 十日 安房 大鳥祭 十三日 和泉

鹿兒島祭 十五日 大隅 宮崎祭 十五日 筑前

函館八幡祭 十五日 渡島 巨隠祭 十五日 信濃 三島祭 十六日 伊豆

鎌倉祭 二十日 相摸 樺太祭 二十日 樺太 大宰府祭 廿五日 筑前

藤島祭 廿五日 越前 土佐祭 廿五日 土佐 鷹祭鳥

吳服祭 兩國川開

○八月九月十月ニ渡ル物

露 稻妻 稻光 角力 秋日 秋日和

霧 霧雨、の海 鱗雲 秋雲 秋の空

秋の晴 秋風 爽 冷 すさまし つかめたし

律の調 秋の調子也 秋の夕 宵の秋 虫

月 朝月 玉兔 かつら男 上弦 下弦 片破月 嫦娥 有明 弓張月 夕月 晨朝 粧ふ山 秋山

秋川 秋水 秋の海 刈田 毛見 檢見



稻刈 稻こき ヒキウス 礎 土白 新米 古米 新米 こまこし米

新酒類 ○野遊 ○風爐 ○藪入

○出代 此名春ニ同シ ○鯉 ○鵜舟 ○築

○鮎 ○川狩 ○鷹 薄 ス、キ

萱 カヤ 櫛 シ 蕃椒 唐辛子 薯蕷

千種花 秋草 はせ しいら 久万引 はせ釣

鱧釣 ス、キ 洲走 ス、シ えこないな ぼら ぼら釣 んぢらま

鶴鶴 セ、レ 庭たいき 石たいき 桂の花 秋のくれ

龍田姫 秋ヲ領ス ○祭

九月

白露節 秋分節

南呂月 葉月 月見月 秋風月 仲秋

重陽 舊式ニ戌月九日ノ重陽又菊ノ節供トテ祝ヘリ 菊酒 菊合 茶更袋 栗粉餅 菊の着せ綿 九日小袖

菊ノ節供 ハナセハ雑ナリ ○後の雛

初月 新月 三日月 待宵 小望月

名月 三五夜けふの月望、名の、半名、の、雨、無、の客、見、今宵 既望 十六夜

立待 七十日 居待 八十日 臥待 九十日 亥中月 廿日

廿日月 初月ヨリ亥中月マテ其年ノ曆ニヨルヘシ 二十六夜 廿六夜待

嵐 野分 砧 四手打 添水 僧部共

鳴子 引板 落水 案山子 鳥おごし

初潮 大沙 肌寒 朝、や、寒、秋、 茸狩

木の子 初たけ 平たけ 松たけ 藍たけ しひたけ 鼠たけ しめじ 榎茸 かふたけ いくち 茸山 ○時正 ○社日

○彼岸 二百十日 ○裕 やいと花

蕙苳 ことし葉 新わら 初紅葉



木犀 芙蓉紅芙蓉、漆れ花 雞頭花

野菊 鶉草 金剛草こまつなき

我木香ワレモクウ 香赤紅 雁來紅葉鷓頭 澤桔梗かまつか

こなき 葡萄ぶひかつら 葡萄酒ういさやう

葛葛ノ根堀 蓼の花穂蓼 王瓜カラスウリ

鷓ヒヨドリ上戸アケビ 通艸 竹伐 無花果イチシク

種瓢ルコウ 縷紅 檀特花 菱實

藤實 木賊ホウソキ 鬼灯艸 つきくさ

露艸ちくさの花 劉萱 鳳仙花やまな 紫苑シラン

兄のしこ草アハコ 車前子 木草色付 芋

佛掌むかご 苦參引 牡丹分根 芍藥モ

木綿取棉ノ 茜堀 かりやす 若煙草

重陽舊式ニ戌月 菊酒 菊合 茱萸袋 栗粉餅  
九日ノ重陽 菊重着 高キニ登ル  
又菊ノ節供 菊の着せ綿 九日小袖  
トテ祝ヘリ 栗節供

菊ノ節供節句ト斗一句 後の雛

初月新月 三日月 待宵小望月

名月三五夜けふの月望、 既望十六夜

立待七日 居待八日 臥待九日 亥中月廿日

廿日月初月ヨリ亥 二十六夜 廿六夜待

嵐 野分 砧四手打 添水僧部共

鳴子 引板 落水 案山子鳥おごし

初潮大汐 肌寒朝、や、寒 茸狩

木の子初たけ 平たけ 〇時正 〇社日

〇彼岸 二百十日 〇拾 やいと花

蕙苳 ことし蕙新わら 初紅葉



木犀 芙蓉紅芙蓉、漆れ花 雞頭花

野菊 鶉草 金剛草 こまつなき

我木香 ワレモッコウ 吾亦紅 雁來紅 葉鷄頭 澤桔梗

こなき 葡萄 ぶひかつら ういきやう

葛 葛ノ根堀 蓼の花 穂蓼 王瓜 カラスウリ

鰯 ヒヨドリ 上戸 アケビ 通艸 竹伐 無花果 イチヂク

種瓢 縷紅 ルコウ 檀特花 ダントクノ 菱實

藤實 木賊苳 ホウソキ 鬼灯艸 つきくさ

露艸 劉萱 ちくさの花 鳳仙花 やまな 紫苑 シラン

青き花 月草 月書 兄のしこ草 ヲハゴ 車前子 木草色付 芋

すいき 佛掌預 むかご 苦參引 牡丹分根 芍藥モ

木綿取 棉ノ 茜堀 かりやす 若煙草

藥堀 薄荷 鬼日 ホロシ 菜大根蒔

罌粟蒔 ケシマク 芥菜蒔 カラシマク 紫蘇實 間引菜

拔菜 つまみ菜 粟稗黍刈 粟摘 粟引

萩の實 稻 稲舟 苳田 富艸 水かけ 艸

竹春 れいし 青豆 ナツメ 棗

煙草花 煙草 藍花 蕎麥花 蕎麥畑

牛房引 鳴 鳴網 鮭 生鮭 初さけ

はらゝご 鮭の子 木啄 鹿 鹿笛 鹿火屋

鷹打 あら鷹 もす もすおさす のは の葉かき やにえ

かしか鳴 河鹿 大刀魚 稻負鳥

三鳥の一也 鶉 鶉合 衣 小鰯引 ひしこ漬

鰯、網 秋刀魚 鱈築 江鮭 アメウチ 湖ニ生ス



○御燈三日 神宮神嘗祭七日 秋季祭二廿日

寶市十三夜 牛祭十五日 御祭十六日 伊勢十七日

住吉神送卅日 野々宮別 虫撰

蟄虫抔戸フヤク 蟄虫ひそむ所 蛇百足石龍子 其外

鹿島祭一日 常陸 氣比祭四日 越前 生國魂祭九日 攝津

志賀海祭九日 筑前 大洗磯前祭九日 常陸

都々古別祭十一日 磐城棚倉 竈山祭十三日 紀伊

住吉祭三十日 筑前 玉前祭三十日 上總 高瀬祭十三日 越中

石清水八幡祭十五日 山城 石上祭十五日 大和

鶴岡八幡祭十五日 相摸 伊佐須美祭十五日 岩代

新田祭五十日 藤崎八幡祭五十日 肥後 田島祭六十日 肥前

豊國祭八日 山城 霧島祭九日 大隅 生島足島祭九日 信濃

駒形祭九日 陸中 寒川祭十二日 相摸 白峰祭一廿日 山城

井伊谷祭二廿日 遠江 玉祖祭五廿日 周防 水無祭五廿日 飛彈

佐太祭五廿日 出雲 日前祭六廿日 紀伊 國懸祭六廿日 紀伊

吉野祭七廿日 大和 英彦山祭八廿日 豊前

十月

寒露節 霜降節

無射月ヌエキ 長月 菊月 紅葉月 寢覺月 季秋

歸燕 禮つばめ 駒鳥歸 初雁 雁

色鳥渡カラツ 朝鳥渡アサツ 啄木鳥ツグミ 小鳥渡コトリ まめまわしマメマワシ ひからヒカラ 椋鳥ヒヨドリ きくいたキクイタ たきタキ 椋鳥ヒヨドリ

かしこりカシコリ 此類渡ルコノトク ろりロリ しやシヤ 頼赤タモシ 四十雀ヤチウズ 山雀ヤマズク 來ルト云キタルトイフ ひわヒワ 目白メジロ 頼白タモシ 五十雀イツウズ 山雀ヤマズク テ秋也テアキナリ 連雀ツグミ つぐみツグミ まじマシ こコ 小雀コナリ あさりアサリ ひよヒヨ こコ 額鳥ヌカトリ いすかイスカ 此類歸來コノトク 断ニ不及ツグミ 季ニツツ ンン ルトキルトキ ハ季也ハキナリ 一句ハイツクニ 雜也マゼナリ 又色鳥渡イタドリ トハ色トハシロ ヲノ鳥渡也ノトリ

百夜艸 金草 契艸 弟艸 歸艸 翁艸 蘇我菊 黄菊 白菊 四方ノ錦



野山の錦染る山 忍草事無艸 龍膽エヤシクサ

思ひ艸 烏冑花音楽艸 尾花 敗荷

裏枯 柏散ル 濱ゆふ花 菟蓐花

木の實梅嫌漆實くぬぎ 團栗實銀杏 椋まゆみ 菜更さいから 菩提子 むくろじさち 新榧 桐油實 榿實 新胡桃 椿實さるめろ うさいノみ

南天せんたん はしはみ 柘榴 柿干柿 樽メキ 熱柿 あま干 きたんは 澁柿そちや 五所柿

椎落、栗落栗いか、 芝、さい、 飯焼、 大豆引 小豆引

緑豆引 蓮實飛 草の實 山椒

豌豆蒔エンドウ 柑類實金柑 佛手柑 橘 柚 橙 九年母 柑子 雲州橘 蜜柑 さぼん うちむらさき

晚稻ひつぢ田 新蕎麥 色かへぬ松

水木 柁のかつらイロレンケ 佛甲 いわすへり

白粉花 烏頭ウツ 梟頭カモト 仙蓼

葭 蘆芦の穂、の花 紅葉柞紅葉 梅、 蕩、 櫻、 柿、 櫨、

檜檜、 檜、 檜、 檜、 草紅葉

銀杏落葉 絃藻取 落鮎下り鮎 さいひ、 澁、 うるか

下築ヤナ 崩築 初鳴 尾花鮎 網代打

紅葉鮎 暖メ酒 新酒古酒 猿、 滑、 濁、 さびろく 中汲もろみトモ あら走り

手造酒 後の月十三夜 栗名月 二度の月 二夜月 豆名月 月の名 前ニ記スル如ク其年ノ曆ニヨルヘシ

露霜 秋雨霧雨 秋霜 風炉名殘

○年貢 秋ふかし 長夜明らねる夜 明おしむ、 秋、 半の秋

蚊屋雁書ク 冬隣冬ちかく 行秋

秋の名殘くれの、 いたをしむ 暮、 の限り、 の別れ、 深し晩、 九月盡 星月夜

神送神ノ留守 神ノ旅 達磨忌日 法花會日

維摩忌日 御命講三十日 芭蕉忌日

十夜六日ヨリ 十五日マデ



豐榮祭 周防 赤間祭 七日 長門 上丹生川上祭 八日 大和

田村祭 八日 諏訪祭 八日 肥前 大紳山祭 九日 伯耆

物部祭 九日 石見 劔祭 九日 越前 梨木祭 十日 山城

上若狹彥祭 十日 若狹 金刀比羅祭 十日 讚岐

海祭 十日 播磨 安仁祭 十日 備前 大縣祭 十日 尾張

速谷祭 二十日 安藝 北島祭 三十日 伊勢 高良祭 三十日 筑後

熊野祭 四十日 出雲 熊野速玉祭 五十日 紀伊

伊太祁曾祭 五十日 紀伊 酒列磯前祭 五十日 常陸

伊和祭 五十日 播磨 枚聞祭 五十日 薩摩 中丹生川上祭 六十日 大和

丹生都比賣祭 六十日 紀伊 朝鮮祭 七十日 朝鮮

長田祭 八十日 攝津 吉備津祭 八十日 備前 忌部祭 九十日 阿波

出石祭 二十日 但馬 二荒山祭 二十日 下野 宇都宮 出雲祭 二十日 丹波

靖國祭 三十日 武藏 吉備津彥祭 三十日 備前 唐澤山祭 五十日 下野

宮崎祭 六十日 日向 臺灣祭 八十日 臺北 臺南祭 八十日 臺南

照國祭 八十日 薩摩 香椎祭 九十日 筑前 蛭子講 廿日

誓文拂 御取越 大社神事 下 亥 出雲ニテ 神有月ト云

神迎 射場始 五日 下元 五十日 雀成蛤

豺祭獸

十一月

立冬節 小雪節

應鐘月 初霜月 時雨月 良月 孟冬

冬至 髮置 務置 かつき初 顔見せ 小春

小六月 時雨 初時雨 風 木枯 茶口切

瓢炭取 冬枯 冬され 玄猪 亥ノ子餅



綿入綿衣 綿打 爐開炬燵開 圍爐裏開 雪垣

北窓閉 網代網代守、木 筥タラヘ 柴漬フシ

炭竈炭燒 炭賣炭團 鍋燒 夜具引 曆賣

歸花 殘菊 名草枯 枯蓮

枯尾花 草花枯萩萩菊 芦其外 萬葱 八ッ手花

冬草 落葉木の葉 石落花ツツハ 山茶花ヤマブキ

柀の花 茶の花 枇杷花 榧の花

枯柳 蕎麥刈 大根引蕪菜 麥蒔

冬瓜カモ 干菜釣干菜ト斗 鵝ヒタキ

尾越鴨 氷魚ヒヲ うるめ

鶯のさゝ鳴うぐひすの子 籠鳴 初氷

初霜 初雪ヒモカ 氷面鏡

明治節日 御神樂 里神樂 子祭子

大黒祭 都々古別祭日 大麻比古祭一日 阿波

明治祭武藏 淺間祭四日 都農祭五日 日向

住吉祭九日 宗像祭五日 竈門祭五日 筑前

談山祭七日 吉備津祭八日 山神祭 備後

大師講 空也忌 御佛事廿二日 ヨリ 廿八日マデ

報恩講 御祭廿七日 春日 吹革祭御火焚 八日

曆奏 虹藏不見

○十一月十二月一月ニ渡ル物

寒寒さ 霰 寒寒さ 冬の日短日 くれ安き日

冬の夜寒夜 夜半の冬 冬の月 冬雲

冬の雨 冬の空 山眠ル 冬山



氷氷滑ル、柱薄、鐘、  
牙ル月、星、水涸ル

枯野くたら野、冬野 冬枯霜枯 冬田

冬の川 冬海 冬の蜂冬の蠅 冬椿

月雪 水仙 冬櫻 冬籠

冬構 冬木立冬木、枯木立 祭 火鉢火桶、手焙、懐爐

火爐 爐 「衾」紙衾、敷衾 「夜着

「蒲團」 「頭巾」 「踏皮」 「掃火

「埋火」 「囲爐裏」 「焼火」 「暖補

「温石」 「居風呂」 「紙衣」 「綿帽子

輝アカギレ 胼ヒソ 雪雪やけ 木兔 千鳥友千鳥、小夜千鳥

狩 鵲の巢 水鳥浮寝鳥、鴨、鈴鴨、鷺、かひつぶり、鷗 梟

鷹力艸、暖メ鳥、鳥叫、隼、鳥落艸 教艸 鴨 追鳥 狩 梟

斥鴳ミツサシイ 三十三オトモ 木啄 鮫汁河豚、賣

酢、鍋 鮫鱈汁 納豆汁 生海鼠

海鼠腸 鱈 牡蠣牡蠣飯、酢、舟 鶏卵酒

玉子酒 羹酒 霞酒 生姜酒 冬葱子フカ

ねぎト云ハ 葱一しぢ、根深 雪海苔ユキノノリ、クロノリ

風呂ふき 落の塔 切干 大根

大根 吊大根 蕪蕪汁 蕎麥湯

十二月

大雪節 冬至節

黄鐘月霜月、雪見月、仲冬、極月、復月

師走 乙子餅 追鳥狩 猪

狼 穴熊打 獺取 鯨突初鯨、鯨賣、鯨舟、鯨羽、さ取



人參引 蘭植ル 生薑堀 初鯽

魷イサ 鮪マグロ 寒苦鳥 乾鮭カラサケ

太山檜ミヤマシキ 寒雀 杜夫魚カコブツ 冬牡丹寒牡丹

冬薔薇 芽張柳 寒梅 臘梅

室咲梅 梅椿探ル 冬至梅

霜霜柱 霜の花解ルモ冬 凍るうほる

ふゝゆる つめたき 雪雪ふき、丸け、吹、佛、竿、の花、六の花

雪雪礫 檜檜の、朝の望、女、こかし 雪消ハ冬 雪車雪香、檜、つなぬき

年貢納 年忘 衣配 年木樵

「煤拂 煤掃 「掛乞 門松營

古曆曆ノ末、終ル、卷納 事始三十日 歲暮禮

年用意 餅搗餅花、配、蓮 節季候ウハラ、姥等

岡見 さかさ簀 年の市蓬萊飴、門飴の物

破寛弓羽子板賣、星佛ウリ 層うり 寶舟うり 都テ一月ノ部ニ出ス

臘八 鉢叩 歳のくれ流る、年、浪行、

、阪、關、籠、夜、守、尾、瀨、雪、の、うち、末、の、湊、名、殘、の、鐘

、の際、の、果、の、川、い、の、る、終、の、夕、除、夜、調、年、大、歳、別、歳、分、歳、除、歳、晚、歳、節、季

大晦日大三十日 札納 白木賣オケラ ざこ寝

神宮月次祭四日 幣帛發遣四日

大神祭オホワノ、九日 和布刈神事卅一日、出、雲

荷前使ノツキ、年末 御佛名 熊蟄穴レ

秩父祭三日、武藏 敢國祭五日、伊賀

水無瀬祭七日、攝津 住吉祭十五日、長門

忌宮祭十五日、長門 大祓卅一日







たるなり

一易

一五十韻は百韻の三四の折を除

たる也

一四十四行は百韻の二三の折を

除たる也

一源氏行は オ六句 五句メ月

ウ十二句 七句メ月十一句メ花

ニオ十二句 十一句メ月

ニウ十二句 七句メ月十一句メ花

三オ十二句 十一句メ月

三ウ六句 五句メ花

片面六行書也

一歌仙行は源氏行中の一折を除

たる也 二花二月の新式あり

一長歌行は オ八句 七句メ月

ウ十六句 十一句メ月十五句メ花

ニオ十六句 十五句メ月

ニウ八句 七句メ花 片面八行書也

一短歌行は オ四句 ウ八句

裏ウツリニ月ニオ八句 七句メ月

ニウ四句 三句メ花 片面六行書也

一十八公 オ十句 九句メ月

ウ八句 七句メ花



一 首尾吟 オ八句 七句メ月

ウ八句 七句メ花

一同 オ六句 五句メ月 ウ六句 五句メ花

一 表合 十句 九句メ月

一同 八句 七句メ月

一同 六句 五句メ月

一 和漢行

一 漢和行

○ 去嫌之事

打越に嫌もの

餘字 師走 彌生 のことばに月

折合に嫌もの

手爾遠波

見渡に嫌もの

目に耳にけやけきもの

表に嫌もの

神祇 釋教 戀 無常 述懷

名所 物の名 口傳

月花に嫌もの

月前の雨 花前の風

名残の花前にむつかしき句

○ 句去れ事

二句去のもの

網ニ魚 鳴子ニ鳥 都ニ田舎



神祇ニ釋教 植物ニ刈田 人倫ニ天童 佛

仙洞新院 天女 鬼 御門 星月夜ニ日

年の渡に夜分 鵲の橋鵲月 善ニ惡 遠に近の數尤句作に

桂の花に植物 善ニ惡 遠に近の數天相

惣して反對 やよや なりよなり

朝ニ朝 只の字

やなり朝の類 句体自ら似かよふ物なれば三句も去て可ならん

古式に只の字のみ二句去は何の故にやと森々菴叫れ 雨岡菴もまか思はるされとも

句体變らばくるしからましきこそ

三句去のもの

天相雲と風替りて 國の名 居所

水邊 生類異生ハ 時分 數字一ト二

同字 植物艸と木と 食物飲と食と

松虫ニ松茸の類 星月夜ニ月

七夕ニ夜分 △神祇 △釋教

△山の類 △海の類 △印ある四つは句によりて今少用捨あるへし

五句去のもの

月松 △同季 同季は句によりて今少し用捨ありてまからん

名所 戀

七句去のもの

雪霞の類 鳥啼ニ鳥鳴御傘に云

たさへは鶴のなくに鷹のなくさいふ類也

一座一句のもの

若菜 郭公 松虫 水仙 水雞



杜若 芭蕉 蝸牛 鵝鴿

其外名ある鳥獸艸木又尾上三

日月の類二字三字會意の物

一座二句のもの

櫻 柳 菊 鴈 燕 鶯

千鳥の類二季變想の感あるものは一物にして二用なればなり

月影とつゝきたる句二句 月と

影とわりて今一つも 虫 魚

馬車 餅酒 飯 茶の類

木魚飯 なご替りて三四句もありぬへし

一座三句のもの

山 峯 谷 岨 海 澤

磯 麓 湊 嶋の類 旅の字

折に一つのもの

世と代意かはりて 民の字

同斷 雨さめと替りて二句も 雪

折に二つのもの

おくり假名

千句に一句のもの

瀧 鬼 虎の類。異名異体

のもの鬼婆や虎屋虎御前なごとして五六句もありぬへし

哉留の發句に

もか那一つゆるす口傳

指合をくらぬもの



虫 露 砧の類 夜分と知

つて指合をくらす 主誰の類人

倫よさし合をくらす 尤句作に

よるへし 口傳

此口傳と云はいつれも秘説にあらず  
只筆舌のつくししかたければなり

右すへて百韻の式也。大畧噓草

御傘にもとつき、古今抄の旨に

任すといへども、句作によるへ

し。卷は時の調子により、貴人

高位の御方、老幼の時宜あれば、

用捨は宗匠の氣轉に任す。法は

ゆるやかならん事をと、先哲の

示あれば、七句去の物も句柄に

より、表を替れば五句折を替れ

は三句ともすへきにや。されは

百韻に七句のものも歌仙行短歌

には三句にも許すへく、又一座

に三つ四つのもものも句數少なき

卷にはかへつて一句二句にもす

へし。是等に物の道理を辨て好

句を害ふことなかれど。歸童儂

森々菴 雨岡庵も語られ、一味庵

も志か思ふにそ。







終

